

七月鹿ノ台教室誌上句会 優秀句

お題「義理」(連記) 山神春代選

面目を義理で歩けば懐かしい

宏 樹

入れかわる離婚再婚義理の親

幸 男

夫婦でも義理は果たして終いたい

乃り子

令和にも受けつぎ繋ぐ礼と義理

哲 子

義理立てもしないがそれも複雑で

充

告別式義理が礼服着て並ぶ

英 二

赤貧に義理を貯め込み蟻地獄

正 清

義理だてをして持つてゆく墓の中

ちさと

佳句を抜き義理もすこしは抜く句会

アキラ

生きるつて義理人情のせめぎ合い

広 子

盆暮れは止められぬ顔浮かぶから

千 楽

落とし穴敵の情義か浅い底

よう子

たちまちに義理のすたれる停年後

えいじ

義理の仲不満のみ込み口チャック

登 美

義理チョコが壁を破つて花咲かせ

ミノル

秀 年下を義姉さんと呼ぶぎこちなさ

義 雄

軸 付き合ひも義理はしんどいこれも縁

春 代

お題「憎い」五十嵐千楽選

憎いほど落ち着いていたニシキ蛇

幸 男

バツハさんマッカーサーのようですね

アキラ

貯め置かず海へ放流する憎悪

義 雄

憎いほど強い横綱いなくなり

英 二

憎いこと言つちや届ける請求書

広 子

火をつけて途中下車するにくい人

よう子

憎いけど頼りにしたい奴がいる

えいじ

憎い人と思えないからやつかいで

英 二

憎いけど袈裟まで憎い程じゃない

乃り子

地でやれる憎まれ役が得意です

義 雄

憎しみのトゲは我が胸きずつける

春 代

秀 憎しみがまあるい月になる夕べ

ちさと

軸 ニクイ奴打つは投げるはケタ外れ

千 楽

お題「通す」阿部俊八選

重い部屋風を通して仲直り

充

信念を貫き通し孤独ます

よう子

信念を通して虚し財務省

アキラ

何が何でも意見曲げない頑固者

春 代

ばあちゃんを帰すもんかと通せんぼ

義 雄

トンネルを通し未来の闇に入る

ちさと

義理のため生涯嘘をつき通す

よう子

抜け道を突貫工事する五輪

アキラ

礼儀作法知らぬ強みで押し通す

登 美

生き様と言つて意固地を通しきる

正 清

筋通し歩んだ道に友がいる

哲 子

秀 針に糸通つただけで至福の日

乃り子

軸 土砂崩れすぐに呼ばれるシヨベルカー

俊 八

自由吟(共選) 森里えいじ選

辞書が言うジンリュウは塵流と書く

千 楽

プレゼントされて光のプチシャワー

ちさと

たおやかに諦め論す沙羅双樹

広 子

マスクを耳に始まりそうな妻の愚痴

義 雄

五輪など言いつつ気持ち五輪熱

哲 子

美しく撮つてといわれ荷が重い

アキラ

一葉だけ目をひく白さ半夏生

登 美

墓参り数分間のミニデート

春 代

主いないプチ贅沢の心地良さ

哲 子

余白ない地図にわり込み夢描く

よう子

暫定で旅行の予算とつてある

乃り子

秀 ぎりぎりの音がしている砂時計

ちさと

軸 靴下を寝ころんで履く年齢となる

えいじ

自由吟(共選) 澤山よう子選

教えない企業秘密とほほ笑んで

宏 樹

アメリカを美国と書いて非難する

英 二

今年もかあだ花ばかりナスの花

春 代

ぎりぎりの音がしている砂時計

ちさと

マスクを耳に始まりそうな妻の愚痴

義 雄

変異株あじさいの色八変化

幸 男

あふれ出る曲スマートに亜星さん

千 楽

プレゼントされて光のプチシャワー

ちさと

五輪など言いつつ気持ち五輪熱

哲 子

コロナ後のあまい希望にほくそ笑む

充

主いないプチ贅沢の心地良さ

哲 子

秀 プリズムが宝石箱にご変身

正 清

軸 蕾のまま春を待たずに散る命

よう子

八月誌上句会 投句〆八月十日 各二句

「秘密」(連記) 前田幸男選

「はきはき」奥村義雄選 「許す」原 広子選

自由吟(共選) 水間 充選 八木哲子選

*メール又は封書 アキラ迄